

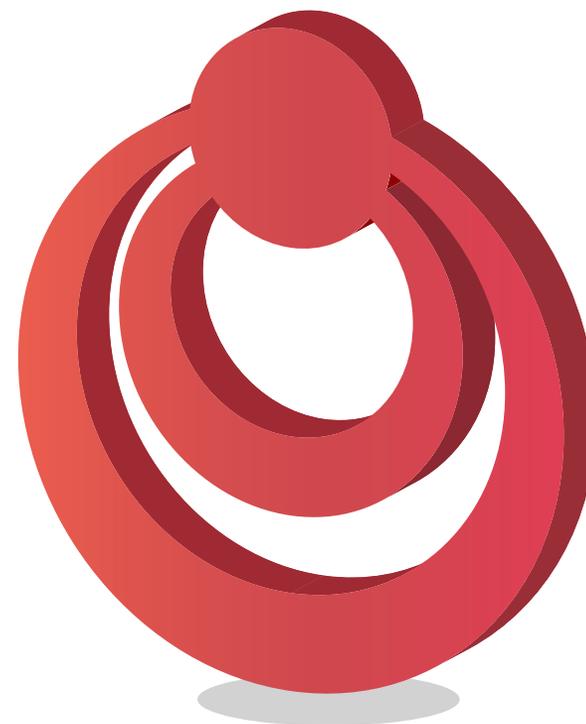
JES GROUP

証券コード 9249

日本エコシステム株式会社

2025年 9月期 2Q決算説明資料

2025年 05月 15日



M&A 及び既存事業の推進により増収増益。 通期業績予想を上方修正。

- ▶ 成長戦略である **M&A** を当期累計4件実行

(詳細は決算説明資料13ページをご覧ください。)

- ▶ 2025年9月期 通期業績予想の **上方修正** を実施

(詳細は決算説明資料6ページをご覧ください。)

- ▶ 非財務情報の開示を目的に **統合報告書2025** を公表

(詳細は決算説明資料22ページをご覧ください。)

目次

01	2025年9月期 決算概要	P03
02	2025年9月期 M&A・PMI	P12
03	トピックス・サステナビリティ	P14
04	事業開発・研究開発の状況	P25
05	株主還元	P28
06	役員紹介	P32
07	会社概要	P35
08	Appendix	P53



2025年9月期 2Q
決算概要

01

2Q 損益計算書サマリー

M&A によりベニクス及びエコベンが売上・営業利益ともに通期寄与、
環境事業及び交通インフラ事業が対前年比で売上・営業利益ともに増加

(百万円)

	2024年9月期 2Q実績	2025年9月期 2Q実績	対前年比	通期計画 2024/11/14公表	進捗率 対計画比
売上高	4,236	5,634	133.0%	11,723	48.1%
営業利益	368	423	115.0%	812	52.1%
経常利益	373	434	116.4%	857	50.7%
親会社株主に帰属する 中間純利益	206	523	253.2%※1	535	97.8%

注記

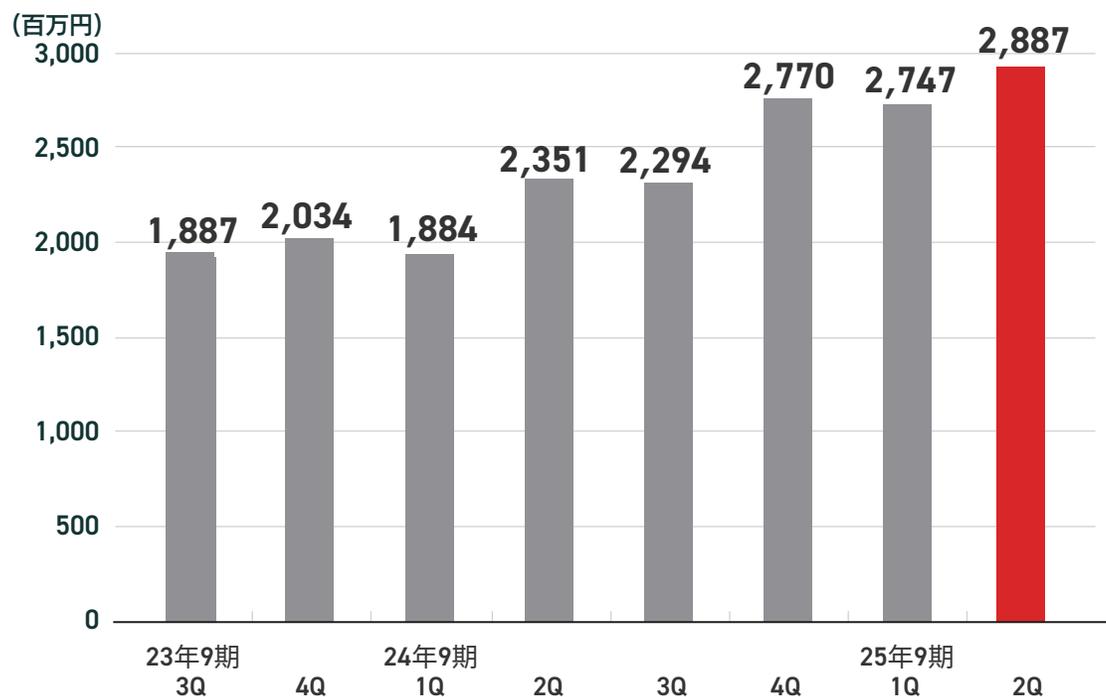
※1 中間純利益の増加は特別利益計上によるもの

売上高・営業利益の四半期推移

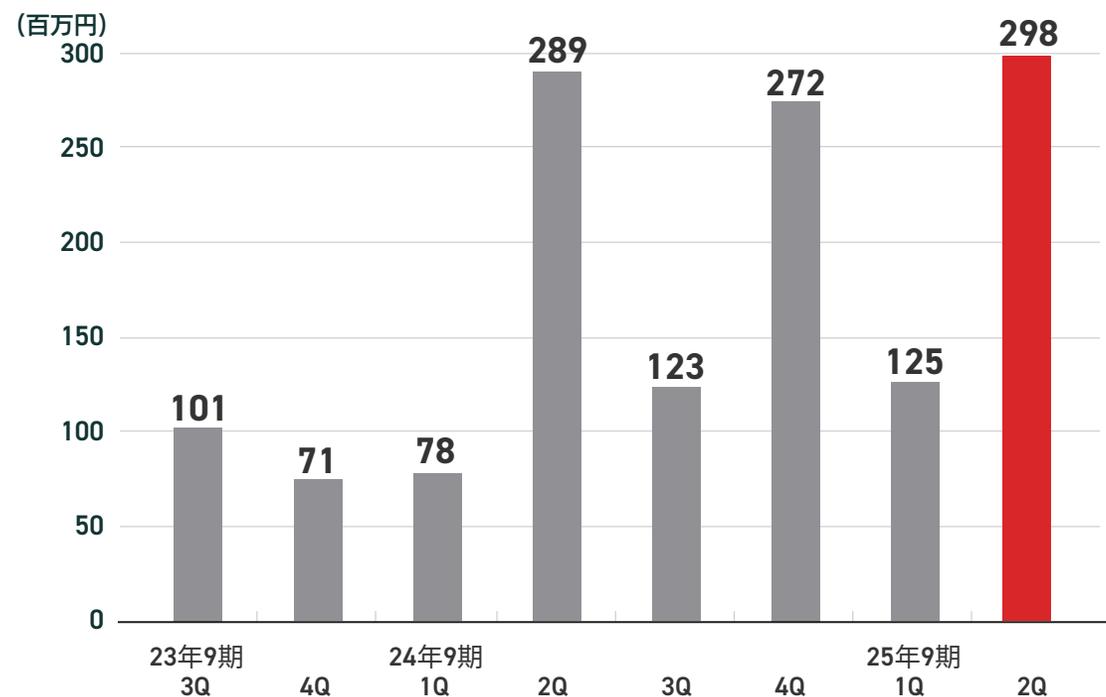
M&A の継続的実行により売上高は順調に推移。

人材への成長投資および株主還元に伴う販管費の増加をカバーし営業利益は対前年比で増加

売上高の四半期推移



営業利益の四半期推移



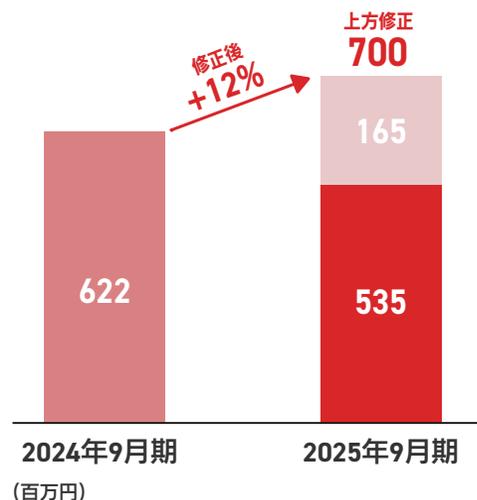
2025年9月期 通期業績予想の上方修正

上半期に計上した特別利益を当期純利益予想に反映した結果、
親会社株主に帰属する当期純利益を従来予想の535百万円から700百万円へ上方修正

(百万円)

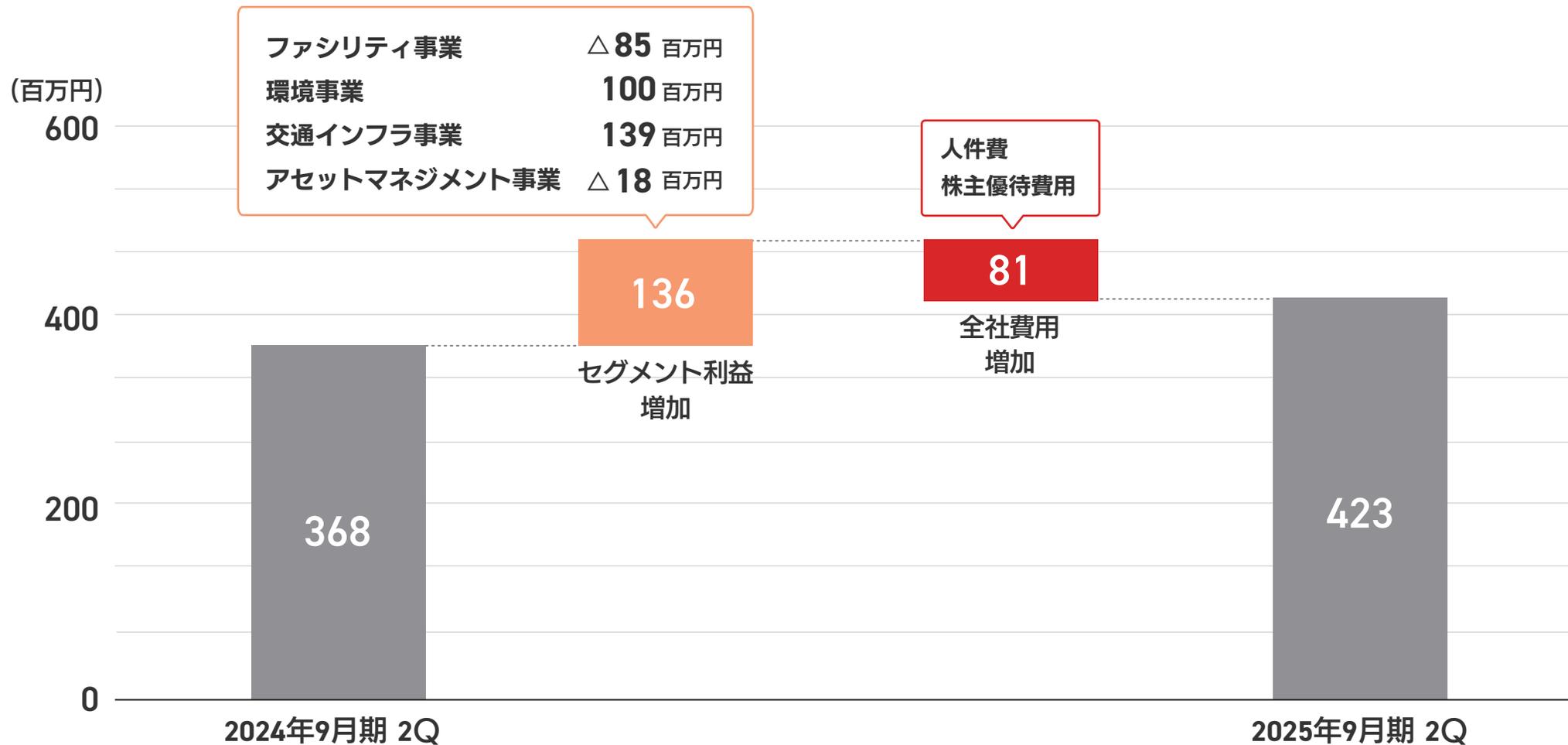
親会社株主に帰属する当期純利益

5.35 億円 → 7 億円



	2024年9月期 第27期実績	2025年9月期 第28期期初予算	2025年9月期 第28期修正予算	対前年比
売上高	9,301	11,723	11,723	126.0%
営業利益	764	812	812	106.9%
経常利益	806	857	857	106.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	622	535	700	112.8%

2Q 営業利益の増減要因分析



2Q ファシリティ事業の売上高・営業利益

ファシリティ、公営競技関連、ICTソリューション

売上高

2,611 百万円 124.1%



UP

営業利益

285 百万円 77.0%



DOWN

対前年比※



分析

- ① M&A によりベニクス及びエコベンが売上・営業利益共に通期寄与により増加
- ② 公営競技関連に係る売上・営業利益の減少



今後の取り組み

- ① JESアカデミーによるファシリティ事業における人材交流の更なる活性化
- ② 公営競技における包括受託の獲得

※報告セグメント区分の変更に伴い、ファシリティ事業の前年比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

2Q 環境事業の売上高・営業利益

水循環システム・アクアリウム、産業用太陽光発電設備の施工

売上高

644百万円 176.7%  UP

営業利益

126百万円 494.7%  UP

対前年比



分析

- ① 排水浄化処理設備及び水循環の大型工事の進行により対前年比で売上・営業利益共に順調に推移
- ② 産業用太陽光（再生可能エネルギー）発電設備が売上・営業利益共に順調に推移



今後の取り組み

- ① アクアリウムの企画運営を含めた業容拡大を図る
- ② 営業人員の獲得

01

2Q 交通インフラ事業の売上高・営業利益

施設（電気通信等）保全業務、道路保全業務

売上高

2,219百万円 132.4%



UP

営業利益

548百万円 134.2%



UP

対前年比



分析

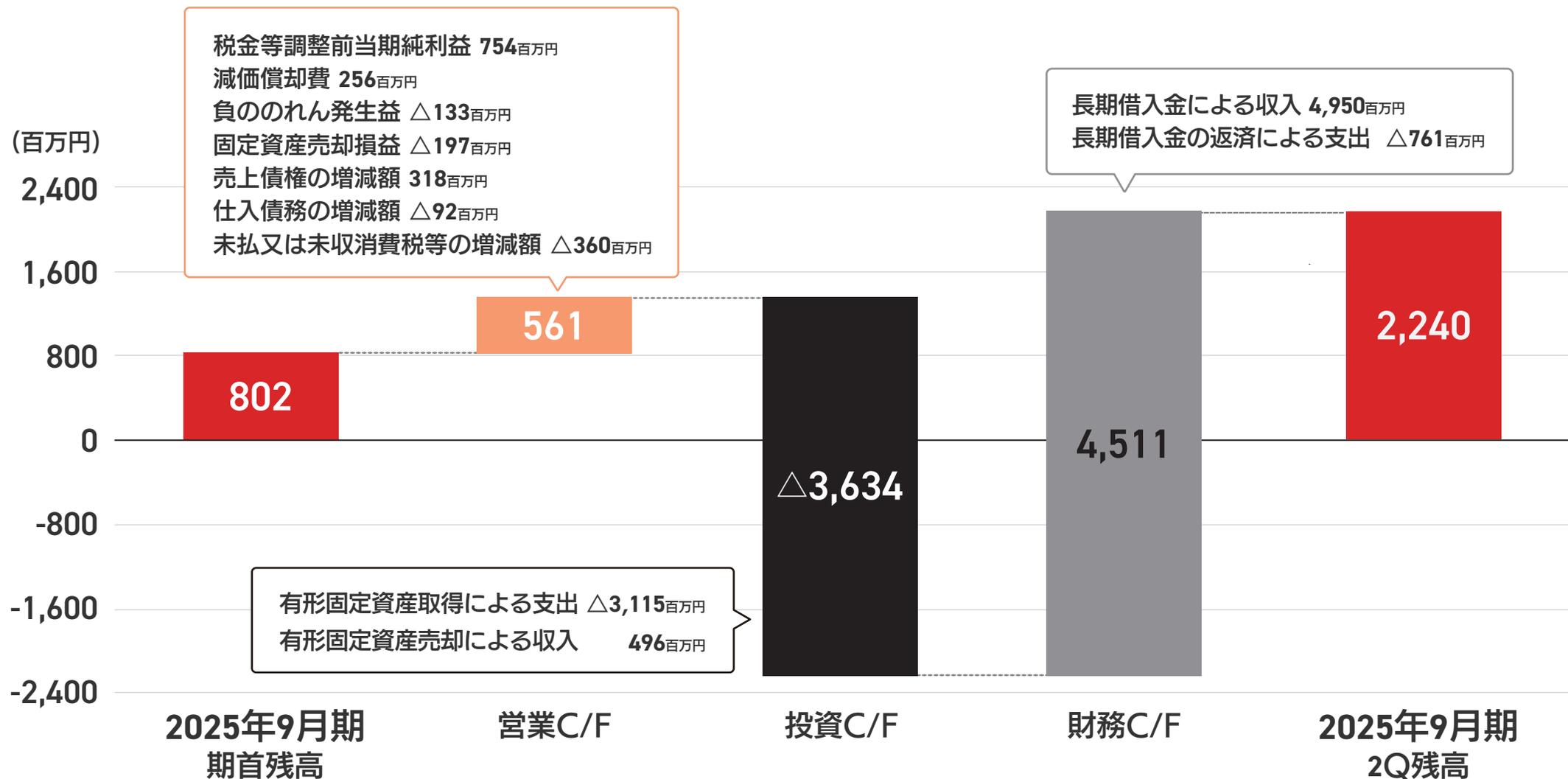
- ① 高速道路運営事業者からの電気通信設備及び構造物の点検・保守並びに高速道路の維持管理等により売上・営業利益が共に順調に推移



今後の取り組み

- ① JESアカデミーによるエンジニアリング事業における人材交流の更なる活性化
- ② 神奈川県に興電社、石川県のテッククリエイト、両拠点を活かしてエリア拡大を視野
- ③ 技術者の獲得と教育によりエンジニアリングサービス強化

キャッシュ・フローの状況



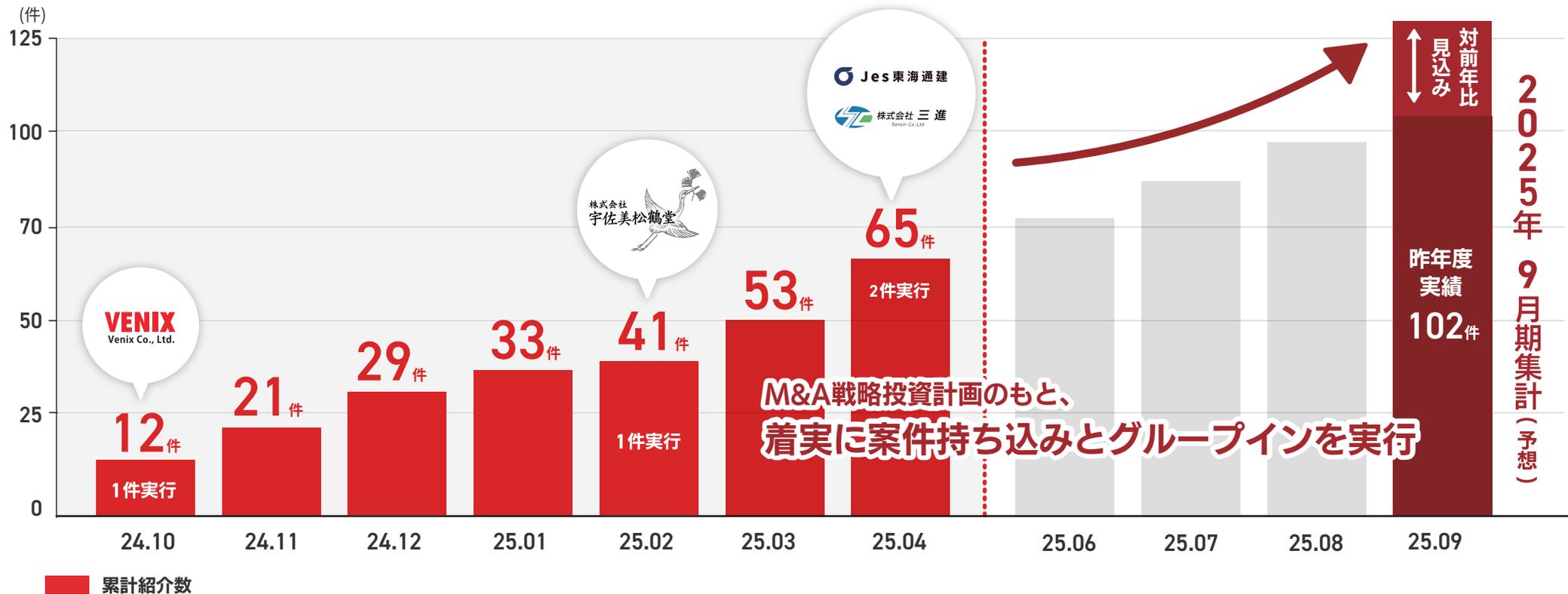
2025年9月期
M&A・PMI
～ 2025/05/15 時点含む

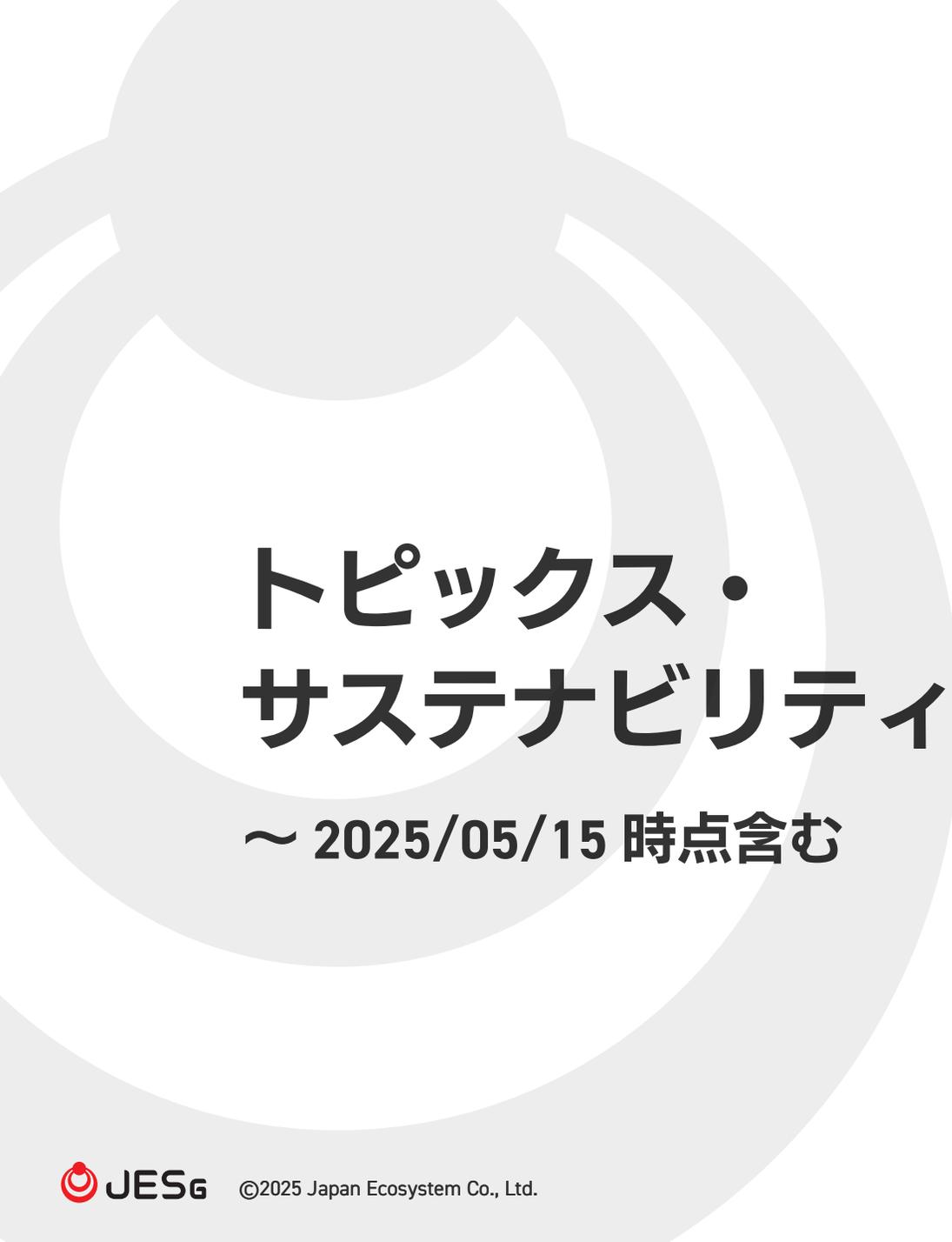
02

2025年9月期 M&A 案件累積推移

社内 M&A チームを組成し、オーガニック・インオーガニック両面での成長追求。

2025年9月期(25/05/09時点)は **4件のM&Aを実行**。仲介会社や金融機関からの紹介案件も継続獲得中





トピックス・ サステナビリティ

～ 2025/05/15 時点含む

03

03 | アクアリウム 新規案件の受注

01

碧南水族館（アオダイショウガラス交換）

愛知県碧南市が運営する「碧南水族館」におけるガラス交換工事を受注いたしました。地域に根ざした公共施設の改修に携わることで、地域社会に密着しながら地域文化の活性化に貢献してまいります。



02

伊勢シーパラダイス（屋外プールアクリル板交換工事）

三重県伊勢市にある「伊勢シーパラダイス」にて、屋外プールのアクリル板交換工事を実施いたしました。これまでの水槽関連工事に加え、より多様な生物施設への対応にも取り組んでおります。

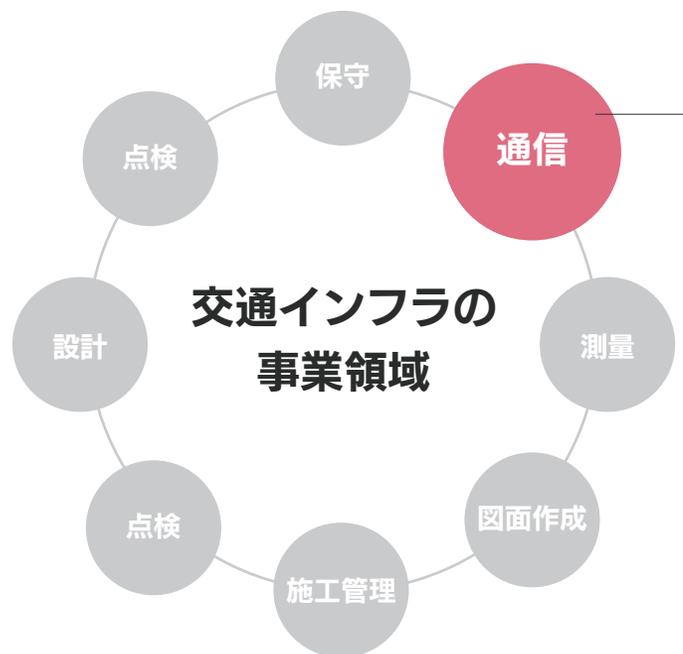


03

M&A Jes 東海通建(株)グループ化

(株)東海通建から電気通信工事業を承継した Jes 東海通建(株) (愛知県豊橋市) をグループ化 (2025年4月)。高速道路の電気通信設備を整備する当社の浜松事業所とのシナジーを中心に連携強化・事業拡大を図る

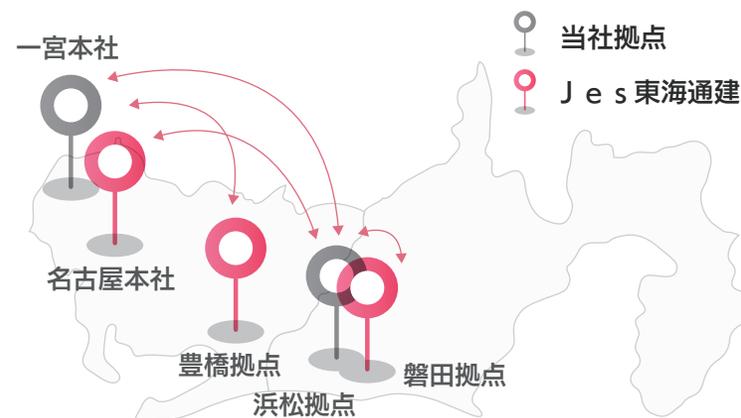
事業領域の拡大



Jes 東海通建

- **情報通信インフラ領域**
ネットワーク
携帯電話基地局等の通信キャリア設備
- **道路通信設備領域**
ETC 通信設備
トンネル内通信設備
非常電話設備

機動的な連携体制



- 顧客や営業ネットワークの相互活用により、シナジーを発揮
- クロスセルの方向性も視野に入れており、交通インフラのみならずファシリティ事業とも連携の拡大を推進

03

M&A (株)三進グループ化

岐阜県を中心に建設コンサルタント業務を手がける(株)三進（岐阜県大垣市）をグループ化（2025年4月）。
グループ会社で岐阜県の建設コンサルタントである(株)日新ブリッジエンジニアリングとのシナジーを狙う

建設コンサルタント業・補償コンサルタント業



×



建設コンサルタント業

人材

育成

事業

顧客

資格

連携価値を最大化する

● 既存顧客の相互共有

三進と日新ブリッジエンジニアリングの連携を通じて既存顧客を共有し、総合建設コンサルタント業務としての受注機会の相互拡大

● 受注業務の規模・範囲の拡大

対応エリアの拡大と専門人材の充実により、多様で広範な業務の受注が可能な体制を構築

● JES アカデミーの活用

グループ会社間を越えたエンジニア育成・資格取得の推進

03

M&A (株)宇佐美松鶴堂グループ化

240年以上に亘り、文化財や寺社仏閣の屏風画・掛け軸等の修理を手がけてきた(株)宇佐美松鶴堂をグループ化（2025年2月）。豊かな文化資本を活かし、文化財保全技術の承継を通じた社会貢献を行うことで、企業価値の向上と持続的な発展を目指す

これまで



- 長年の実績と信頼
国宝、重要文化財など多種多様な実績
- 高度な伝統技術の継承
代々受け継がれてきた職人技術や知見が蓄積
- 幅広いネットワークと専門家との連携
美術館・博物館・文化庁・大学などとの豊富な連携

これから



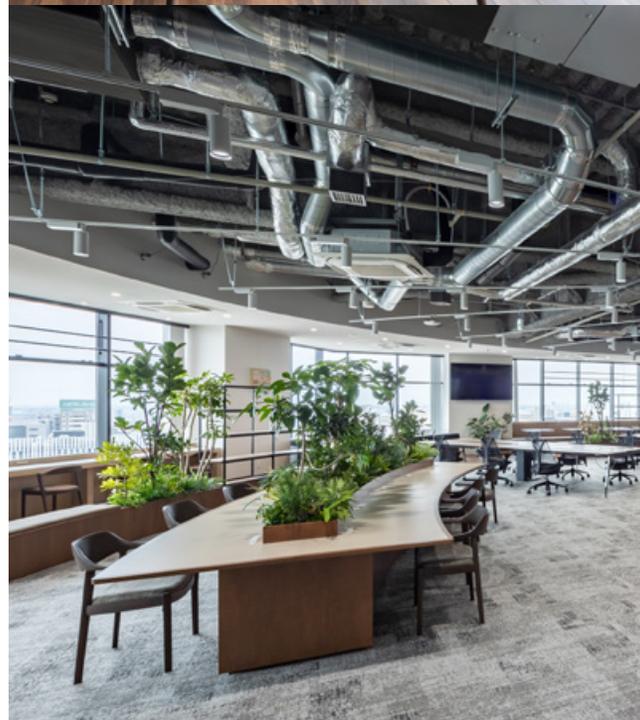
- 経営資源の融合
職人技術 × 企業の資金力・経営ノウハウ
- ブランディング
「伝統 × 革新」の企業イメージの構築
- グローバル展開
海外市場に向けた PR・修理・技術指導も視野に



経営改革により収益を向上

新 JES 一宮ビルより、 さらなる挑戦を。

新 JES 一宮ビルが無事に竣工し、2025 年 2 月 28 日をもって新社屋へ本社を移転、3 月 3 日より営業を開始いたしました。これもひとえに皆様方のご支援、ご厚情の賜物と、心より深謝申し上げます。これを機に、従業員一同一層の精進を重ね、皆様のご期待に沿うべく邁進してまいります。何卒変わらぬご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。



03 | JES 一宮ビル 138 市民ギャラリー

地域への貢献の一環として、138 市民ギャラリーに作品展示

2025年3月11日、JES 一宮ビルにおきまして、尾西信用金庫様のご高配と惜しみないご支援を賜り、同ビル2階138市民ギャラリーに展示する記念すべき第一号作品として「農道」（作：安藤嘉一先生）を寄贈いただきました。

138市民ギャラリーは、一宮市の文化と芸術を広く発信する場として、この記念すべき第一号作品の展示を皮切りに、今後も地元にゆかりのある絵画、写真、工芸品など、ジャンルを問わず多彩な作品を展示してまいります。



03

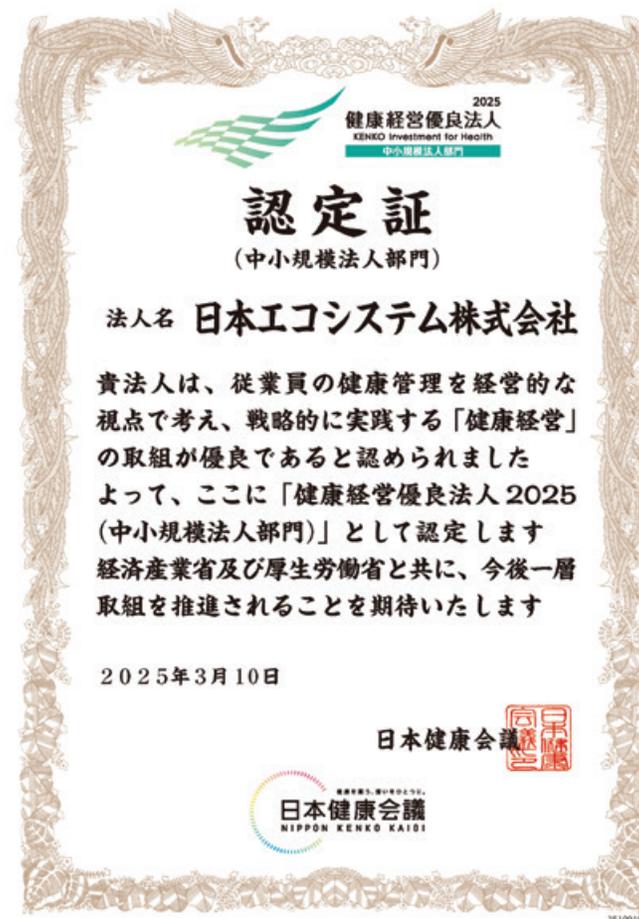
健康経営優良法人 2025 の取得

「ずっと働きたい」と思える職場へ。

2025年3月10日、日本健康会議が実施する「健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門）」に5年連続で認定されました。

当社は、「従業員一人ひとりの能力開発に努め、従業員が安全で働きやすい環境を確保するとともに、従業員の多様性、人格、個性を尊重する」という行動指針に基づき、従業員の健康維持と増進に向けて積極果敢に取り組んでおります。

当社にとって、人材は重要な経営資源です。目まぐるしく動く社会情勢の変化に耐えながらも事業成長を推進させるためには、企業として、単にスキルアップの機会を拡充するだけでなく、優秀な人材が職場に継続して居続けてもらえるような環境づくりが必要だと考えております。



03

統合報告書 2025 の発刊

統合報告書 2025 を発表。

当社グループに対する理解を一層深めていただくことを目的に、「統合報告書 2025」を公開いたしました。本報告書では、当社グループの中長期的なビジョン、価値創造の取り組み、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関する考え方などを分かりやすくご紹介しております。

詳細は当社ホームページよりご覧いただけますので、ぜひご一読ください。

<https://www.jp-eco.co.jp/ir/library/others/>



03 | コンプライアンス研修

小さな意識が、大きな信頼へ。

グループ人材戦略室の取り組みとして、グループ会社である OTS、日本ベンダーネットをはじめとする全 6 社において、「コンプライアンス研修」を実施いたしました。

当社では、従業員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上と、組織全体の健全な運営を重要な経営課題の一つと捉え、定期的な社員教育の機会を設けております。

今回の研修もその一環であり、JES グループ全体における法令遵守および企業倫理の徹底に向けた意識醸成を目的としております。

今後も引き続き、グループ一丸となってコンプライアンス体制の強化と企業価値の向上に取り組んでまいります。





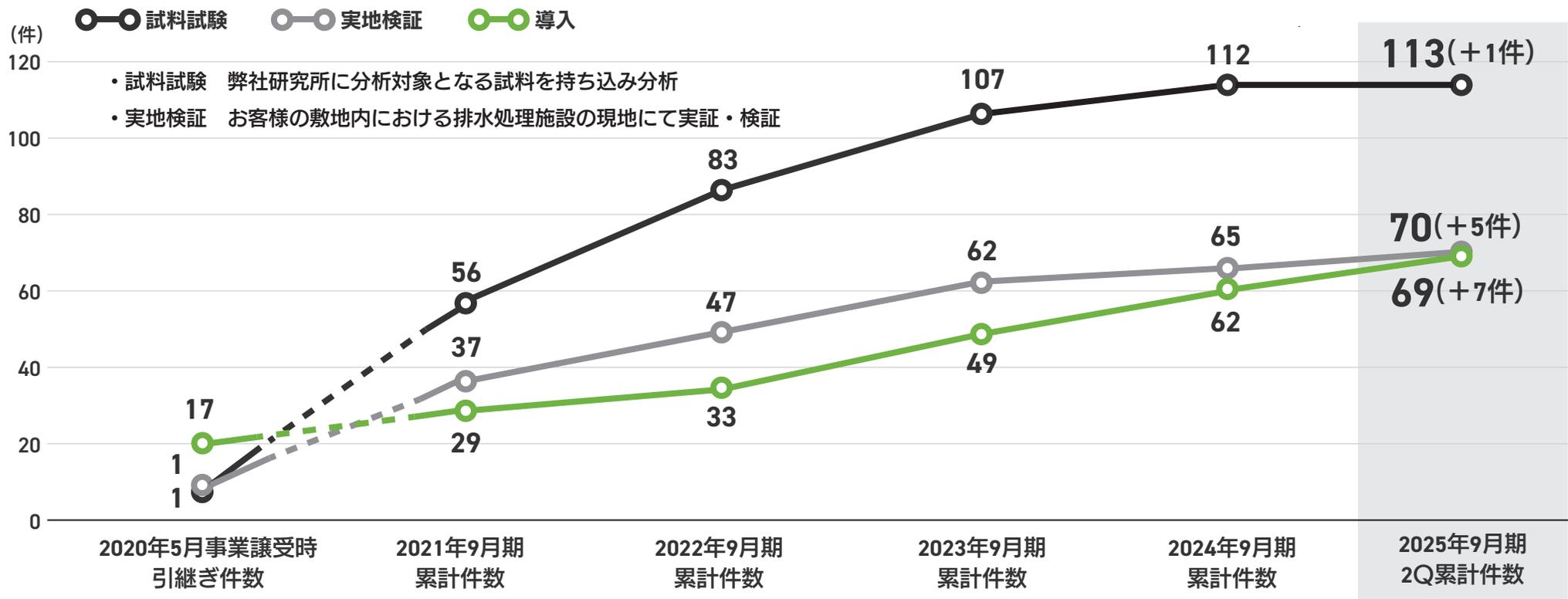
事業開発・
研究開発の状況

04

04

排水処理剤、試料試験・実地検証の件数推移

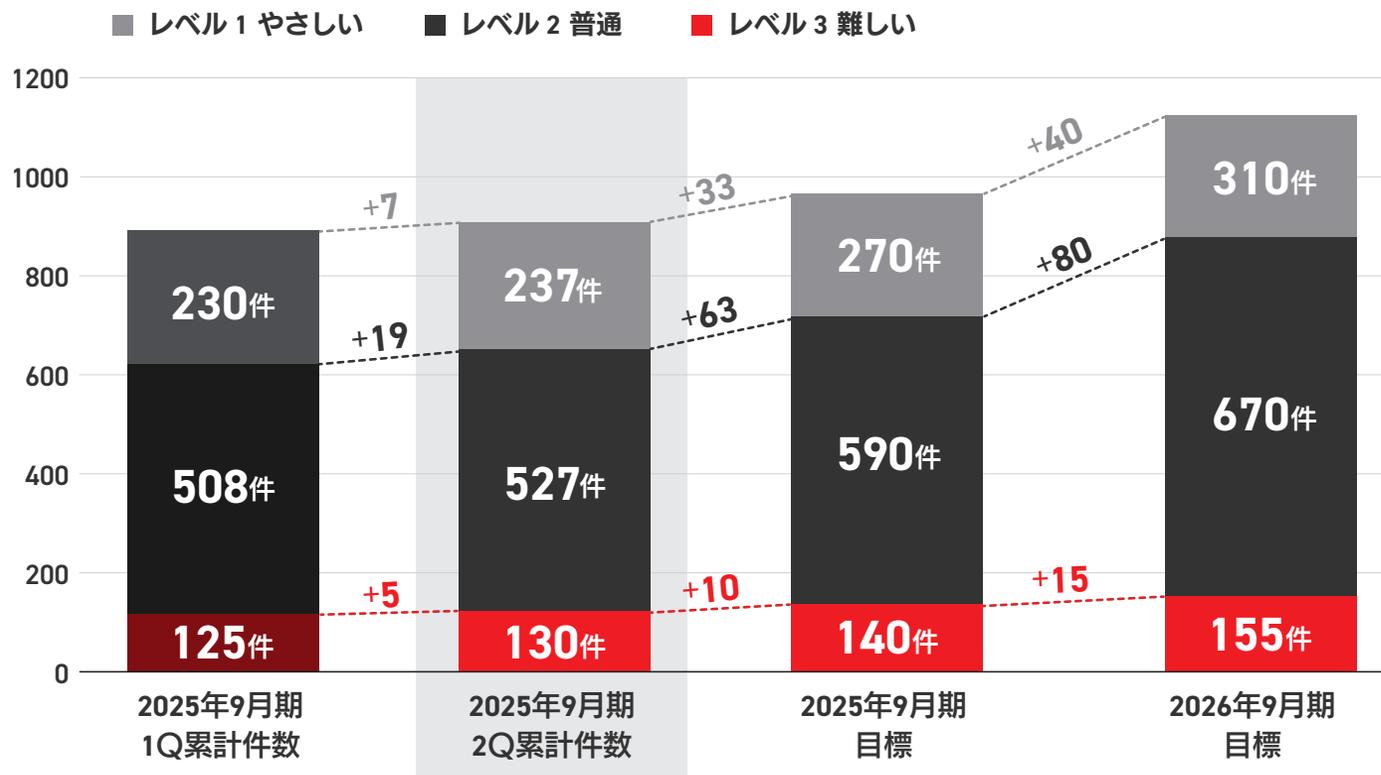
継続的な営業活動の推進により実地検証及び導入の件数が拡大



04

JES グループ累計 資格取得数

グループ全体での資格取得推進を図るとともに、JES アカデミーを活用した実践的な教育に尽力し、後継者の育成とスキル向上を通じて、組織全体の発展に寄与



2025年9月期 2Q

レベル1 237件 レベル2 527件 レベル3 237件

※なお、取得難易度に応じてレベル区分をしております。

累計件数

894

件

2025年9月期
株式情報・株主還元

05

株式情報 株式分割の実施（完了）

目的

投資単位の水準を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上及び投資家層の更なる拡大を図ることを目的として株式分割を実施(完了)

分割割合 **1**株 → **3**株

普通株式1株につき3株の割合をもって分割



基準日

2025年3月31日

効力発生日

2025年4月1日

2025年9月期は、年間配当を **53.0円/株**（株式分割前）へ増配予定。
 第2四半期 中間配当を 26円/株、期末配当を 9円/株（株式分割後）とし、
 安定性・継続性のある配当に加え、**利回りを重視した株主優待制度**も実施。
 なお、株式分割によるものであり実質的な変更はありません

分割前予想

中間配当	26.00円/株
期末配当	27.00円/株 (前期比+1円)

年間株主優待 **30,000円** (クオカード)
 内訳 基準日 3月末日 15,000円 基準日 9月末日 15,000円 ※2

保有株式数の基準 **2单元 (200株) 以上**

3
分
割

2025年4月1日以降

分割後予想 ※1

中間配当	26.00円/株
期末配当	9.00円/株

年間株主優待 **30,000円** (クオカード)
 内訳 基準日 3月末日 15,000円 基準日 9月末日 15,000円 ※2

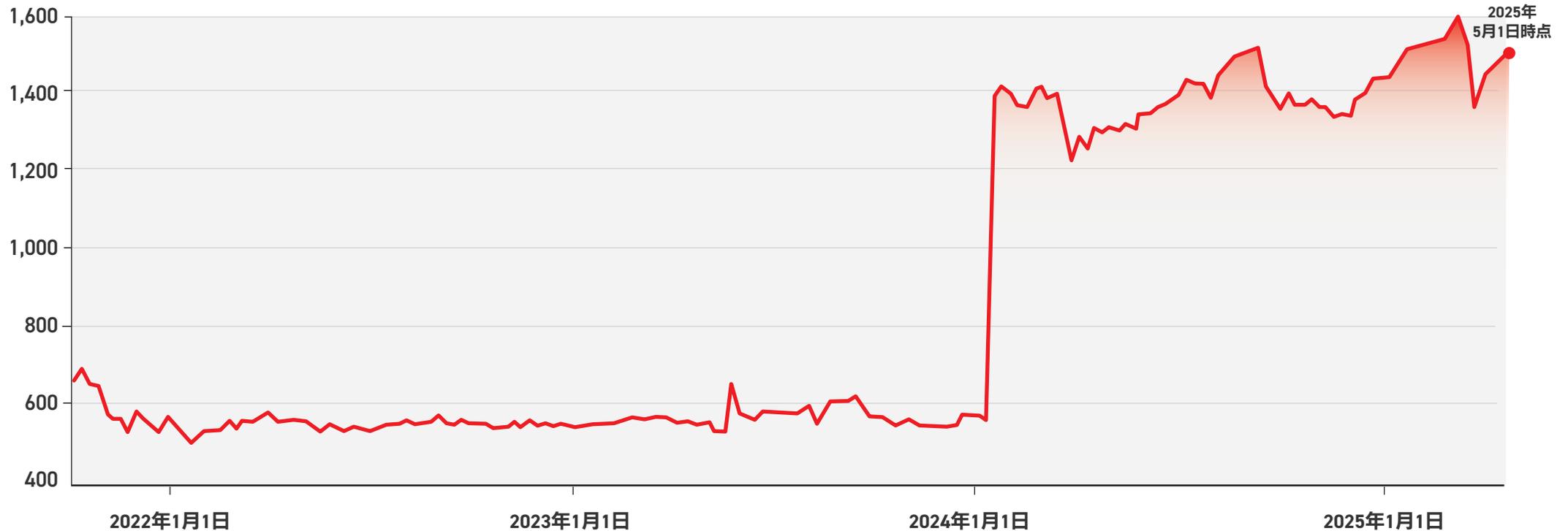
保有株式数の基準 **6单元 (600株) 以上**

※1 2025年4月1日をもって、当社株式を1株につき3株の割合で分割しております。当該分割後を基準に算出した数値を表示しております。

※2 基準日の2営業日前が権利付き最終日となりますのでご注意ください。

株価成長と時価総額の推移

株価^{※1}は約3年間で約2.3倍^{※2}に上昇。株主優待により株価急騰するも、その後も堅調に推移



※1 2025年4月1日をもって、当社株式を1株につき3株の割合で分割しております。当該分割後を基準に算出した数値を表示しております。

※2 上場時（2025年10月8日）と資料作成時点（2025年5月1日）の終値を比較しています。



役員紹介

06



社会・環境と共に発展できる

「エコシステム」の実現へ

社会への貢献を第一と考え、
多様化する社会のニーズに応え続けるために、
より一層の企業価値向上に努め、社会に必要とされ続ける
「300年企業」の創造を目指してまいります。

代表取締役社長

志島 穰

06

役員紹介



松島 穰
代表取締役社長



中村 成一
専務取締役
交通インフラ事業担当



奥村 泰典
常務取締役
ファシリティ事業担当



内田 敦
取締役
グループ会社事業推進担当
交通インフラ事業担当



稲生 篤彦
取締役
管理本部担当



瀧本 裕二
取締役
環境事業担当



杉戸 俊之
独立社外取締役



田野 好彦
独立社外取締役



伊東 史子
独立社外取締役



亀山 直人
取締役常勤監査等委員



加納 正二
独立社外取締役監査等委員



南 善隆
独立社外取締役監査等委員



会社概要

07

会社名	日本エコシステム株式会社	資本金	1,004,947,263 円 <small>※25/4/1 時点</small>
会社所在地	愛知県一宮市本町 2 丁目 2 番 2 号 JES 一宮ビル 11F	決算期	9 月
代表者	代表取締役社長 松島穰	発行株式数	8,712,300 株 <small>※25/4/1 時点</small>
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ ファシリティ事業 防災合板の製造販売、空調給排水衛生設備の施工・管理、 公営競技場におけるトータリゼータシステムの設計・製造・販売・ 機器設置・メンテナンス、AI・ICT ソリューション■ 環境事業 排水浄化処理及び水循環・アクアリウムに関する事業、再 生可能エネルギー発電設備の開発・販売・設計・施工■ 交通インフラ事業 高速道路を中心とした電気通信設備・ETC保守、橋梁・構造物の 点検、道路・公共設備の照明灯工事、道路等の維持修繕工事	従業員数	連結 561 名（平均臨時雇用人員含む） <small>※25/3/31 時点</small>
		監査法人	有限責任中部総合監査法人
		上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所メイン市場





ファシリティ

7社

- ・日本ベンダーネット株式会社
- ・中央警備保障株式会社
- ・OTS 株式会社
- ・葵電気工業株式会社
- ・村川設備工業株式会社
- ・株式会社エコベン
- ・ベニクス株式会社

※ 日本エコシステムを除く



交通

7社

- ・株式会社ワンズライフ
- ・JESモビリティサービス株式会社
- ・株式会社日新ブリッジエンジニアリング
- ・株式会社興電社
- ・株式会社テッククリエイト
- ・Jes 東海通建株式会社
- ・株式会社三進

※ 日本エコシステムを除く



環境

1社

- ・JESテイコク株式会社

※ 日本エコシステムを除く



アセット マネジメント

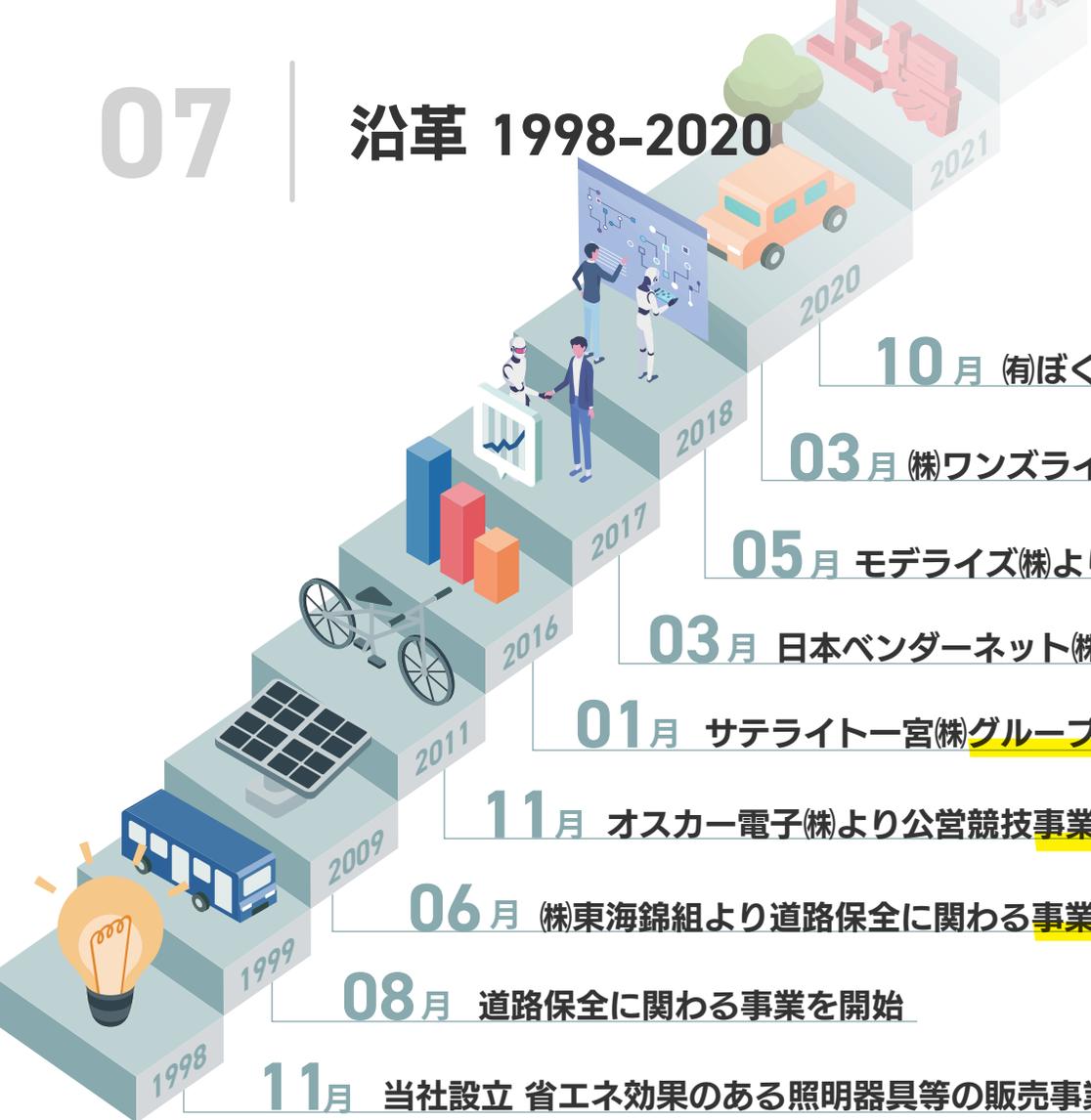
3社

- ・JES総合研究所株式会社
- ・JES FL Co.
- ・株式会社宇佐美松鶴堂

※ 日本エコシステムを除く

07

沿革 1998-2020



11月 当社設立 省エネ効果のある照明器具等の販売事業を開始

08月 道路保全に関わる事業を開始

06月 (株)東海錦組より道路保全に関わる事業を譲受 07月 新再生エネルギー製品の販売・施工に関する事業を開始

11月 オスカー電子(株)より公営競技事業を譲受

01月 サテライト一宮(株)グループ化

03月 日本ベンダーネット(株)グループ化

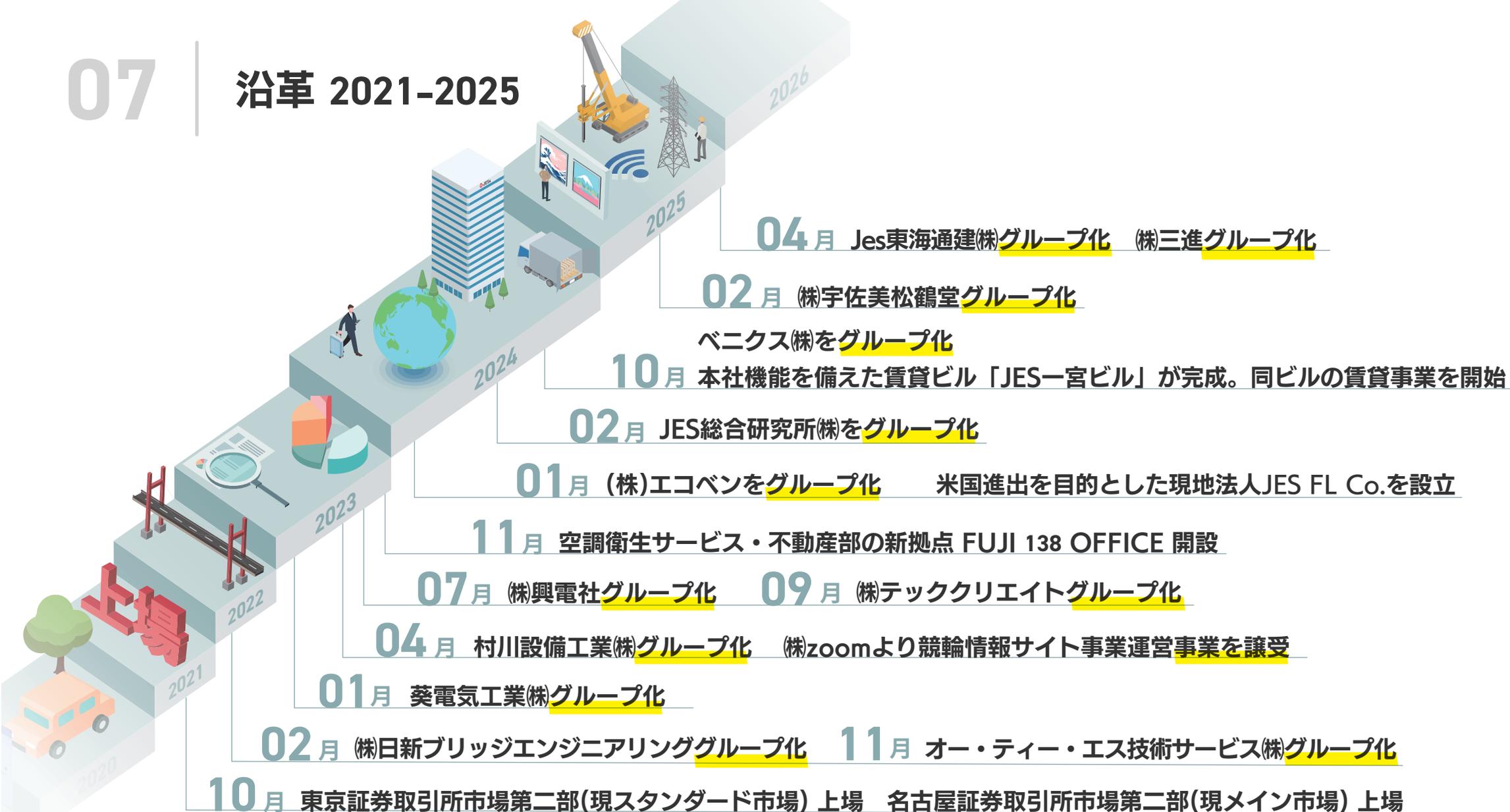
05月 モデライズ(株)よりAIに関わる事業を譲受

03月 (株)ワンズライフグループ化 05月 (株)セイネンより排水浄化処理剤の製造・販売に関わる事業を譲受

10月 (有)ぼくちオジカオートグループ化 12月 排水浄化処理剤の製造工場稼働

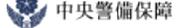
07

沿革 2021-2025



M&A および事業譲受の実績 22 件

上場前 9 件

1 (株)東海綿組 2009年6月 事業譲受	2 オスカー電子(株) 2011年11月 事業譲受	3  (現:OTS(株)) 2016年1月 グループ化(100%)
4  日本バンダーネット 2017年3月 グループ化(100%)	5  中央警備保障 2017年3月 グループ化(100%)	6 モデライズ(株) 2018年5月 事業譲受
7  2020年3月 グループ化(100%)	8  株式会社セイネン Seinen 2020年5月 事業譲受	9 BOKUNCHI オジカオート (現:JESモビリティサービス(株)) 2020年3月 グループ化(100%)

上場後 13 件

10  2022年2月 グループ化(100%)	11  2022年11月 グループ化(100%)	12  葵電気工業 2023年1月 グループ化(100%)	13  村川設備工業(株) 2023年4月 グループ化(100%)	14  2023年4月 事業譲受
15  2023年7月 グループ化(100%)	16 株式会社 テッククリエイト 2023年9月 グループ化(100%)	17  2024年1月 グループ化(100%)	18  JES総合研究所 Japan Eco-System Research Institute 2024年2月 グループ化(100%)	19  Venix Co., Ltd. 2024年10月 グループ化(100%)
20 株式会社 宇佐美松鶴堂 2025年2月 グループ化(100%)	21  Jes 東海通建 2025年4月 グループ化(100%)	22  株式会社 三進 Sanjin Co., Ltd. 2025年4月 グループ化(100%)		

■ 事業譲受 ■ グループ化

〔 JESグループ共通社是 〕

み こう どう
未 晃 道

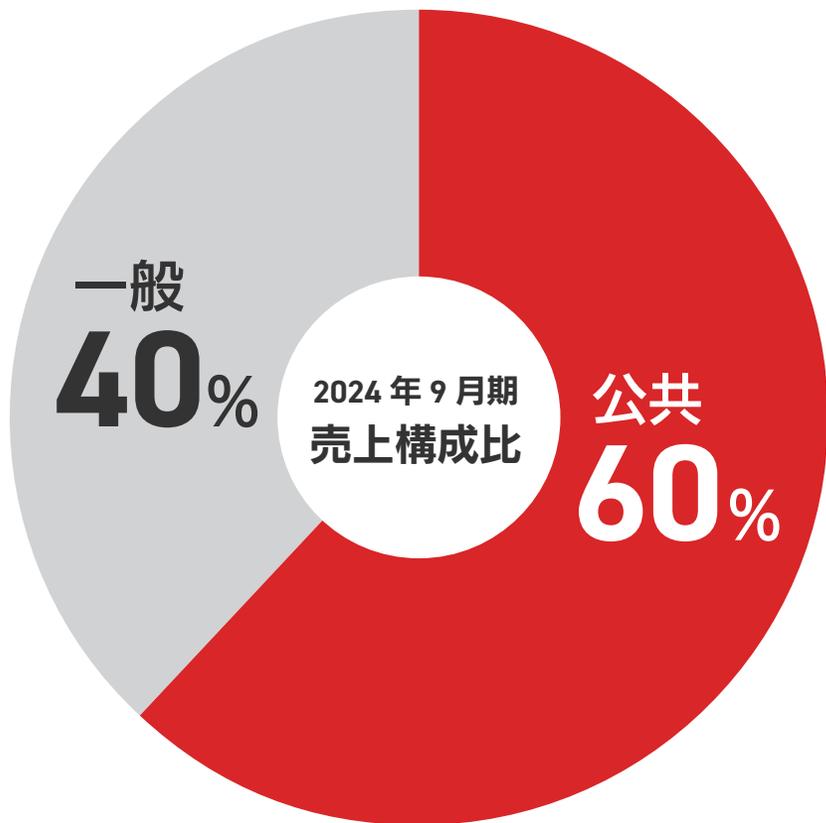
未来の地球を照らし、輝き続ける事業を創造します

〔 経営理念 〕

事業を通じ、物心両面の幸福を追求すると同時に、
かけがえのない地球環境の維持にも貢献します。

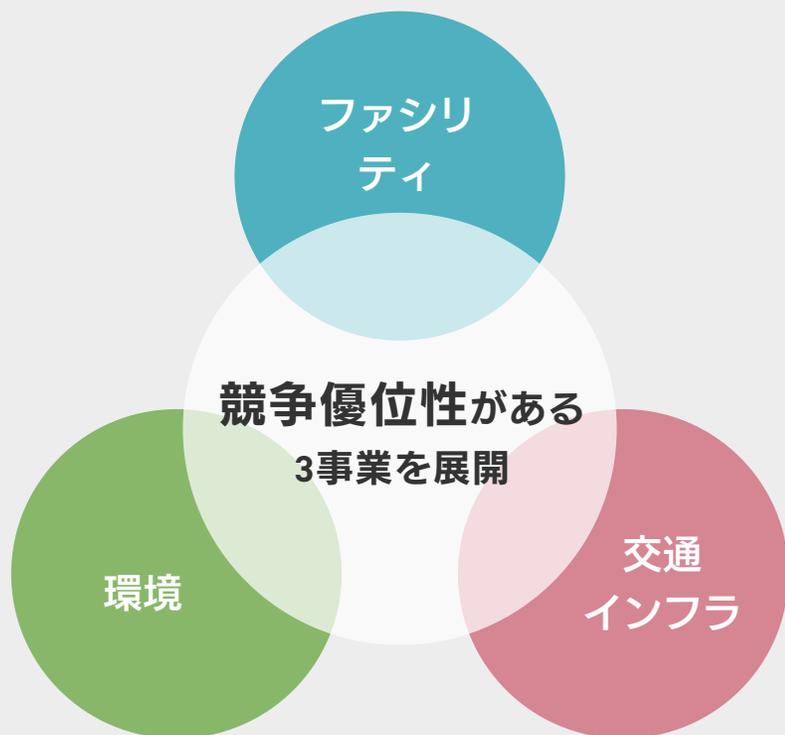


社会の課題を解決し、必要とされ続ける
300年企業を創造



BtoP (Public) を中心とした
安定性の高い領域で事業展開

当社グループは競争優位性がある
ファシリティ・環境・交通インフラの
3セグメントより構成



ファシリティ

企業や自治体が使用する設備(空調給排水・電気・機器・木材等)といったハード面から公営競技運営・イベント企画・警備・AI・ICT等のソフト面まで幅広くサポート。

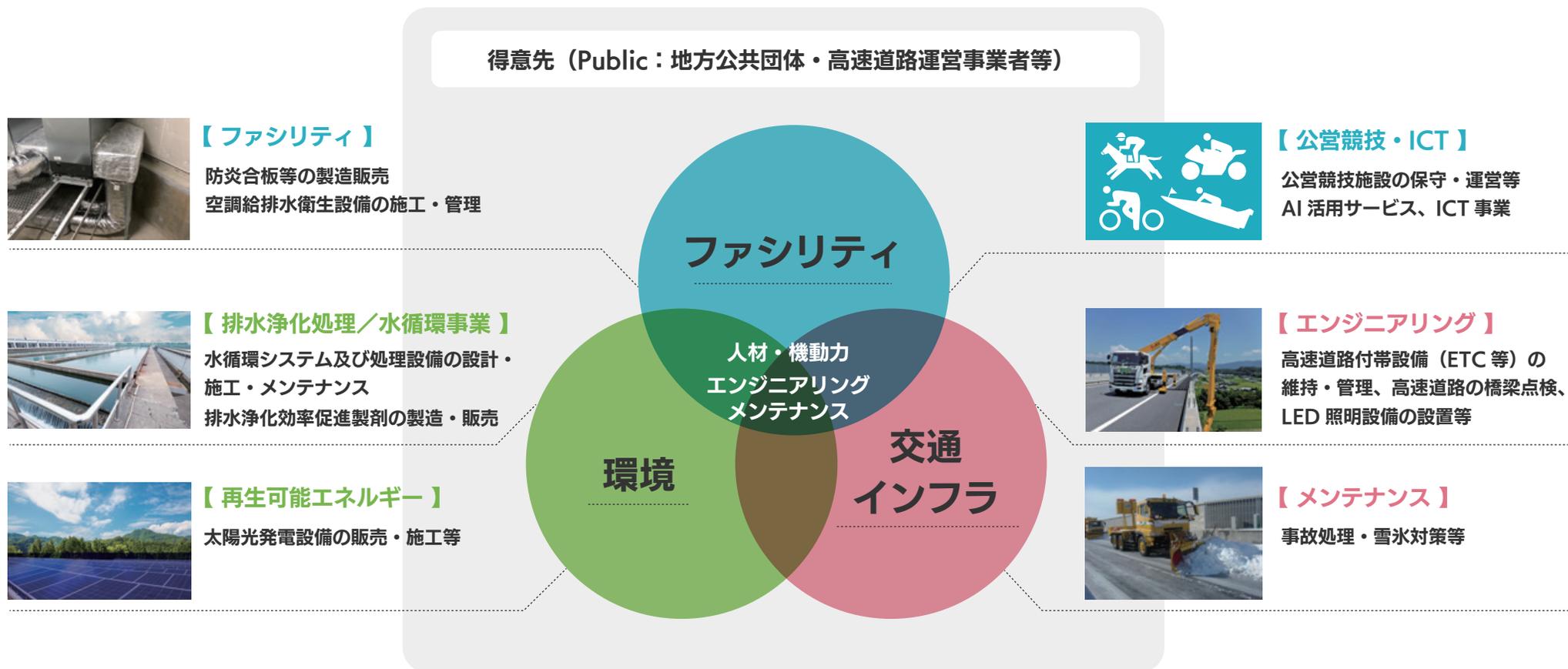
環境

再生可能エネルギー事業に加え、排水処理事業・水循環事業を開始。長期成長分野の事業として育成中。

交通インフラ

主に自治体・中部エリア高速道路運営事業者からの委託を受けて構造物点検や電気通信設備・ETC等の保守サービスを展開。高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現。

エンジニアリング・メンテナンスを強みに公共施設・環境関連向け「**社会インフラサービス企業**」として事業展開

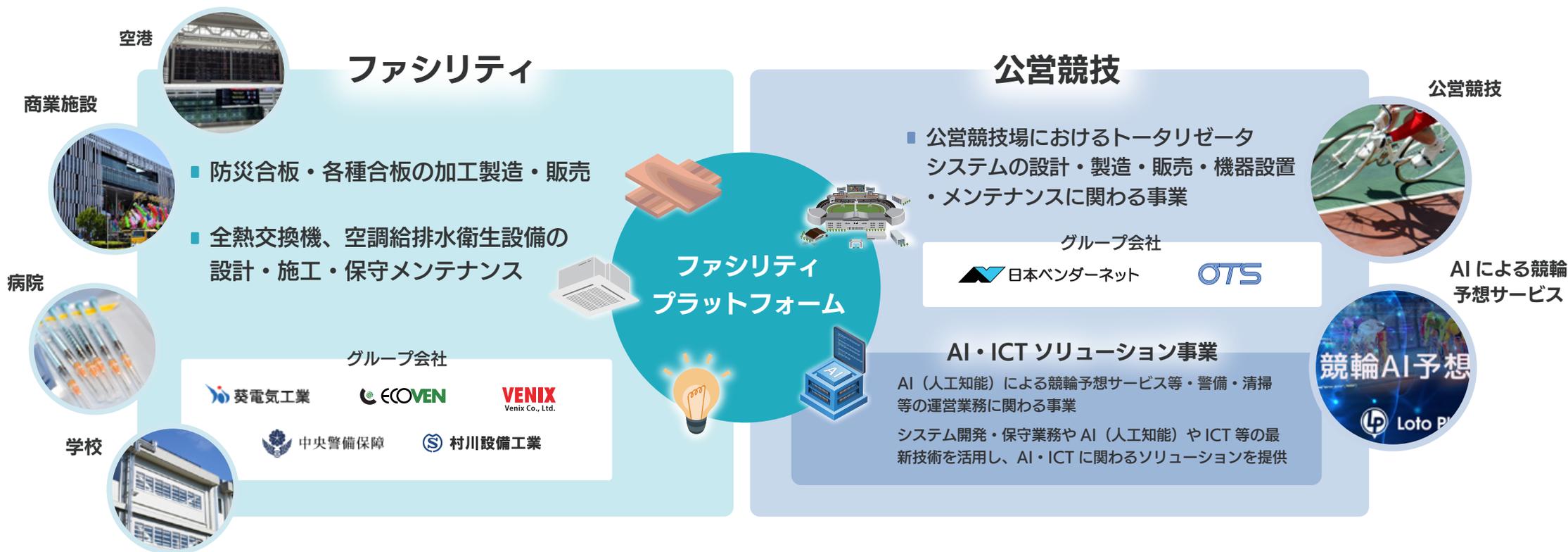


	ファシリティ	環境	交通 インフラ	アセット マネジメント
注力分野 積極的に成長投資を実施し、 事業拡大を狙う分野	 ファシリティ	 産業用太陽光発電設備 アクアリウム	 エンジニアリングサービス	—
深化分野 効率化を図り、 収益性を高める分野	 公営競技	—	 メンテナンスサービス	 不動産
長期成長分野 長期的な成長を目指し、 研究開発の実施や、 新しいビジネスモデルを開拓する分野	 AI・ICT ソリューション	 水循環システム	—	—

07

ビジネスモデル ファシリティ事業

- ファシリティ事業では、地域社会の快適性・利便性向上に貢献する生活インフラサービスを提供
- 公営競技事業では、地域活性化に資する社会的意義の高い事業を展開



中期経営計画 ファシリティ事業

- ファシリティは、技術者の増員により事業拡大
- 公営競技は、施設全体運営の包括案件やネット投票を拡大させ高収益に

注力分野

ファシリティ



- 教育と採用を強化により技術者を増員し、豊富な需要をカバー
- 利益率の高い案件を優先的に受注し、収益改善も狙う
- M&Aによる地域拡大も視野に

深化分野

公営競技



- 強みのある公営競技施設全体の運営の包括的な受託案件を拡大
- 急拡大するネット投票やAI予想も強化

- 2020年より排水浄化処理事業を開始、長期成長分野の事業として育成中
- 産業用太陽光発電設備の施工及び売電が現在の主力事業



- 太陽光発電設備は、リソースを確保し成長に注力
- アクアリウムは、業容を拡大して効率的に案件の獲得を狙う

注力分野

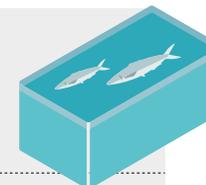
産業用太陽光発電設備



- 需要が増加する工場の自家消費向け案件を着実に受注
- 技術者の獲得と教育による増員
- 営業力・提案力・実行力の強化

注力分野

アクアリウム（水族館等）



- 水槽搬入の下請けから企画運営を含めた包括業務へ業容の拡大を狙う
- 施設全体の設計施工の受注により空調や給排水設備の提供も視野

ビジネスモデル 交通インフラ事業

- 高速道路上のエンジニアリング&メンテナンスに特化
- 高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現



- エンジニアリングサービスの拡大とメンテナンスサービスの高収益化
- M&Aを活用して西日本、東日本へのエリア拡大も視野

注力
分野

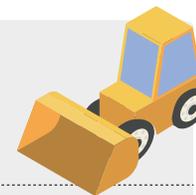
エンジニアリングサービス



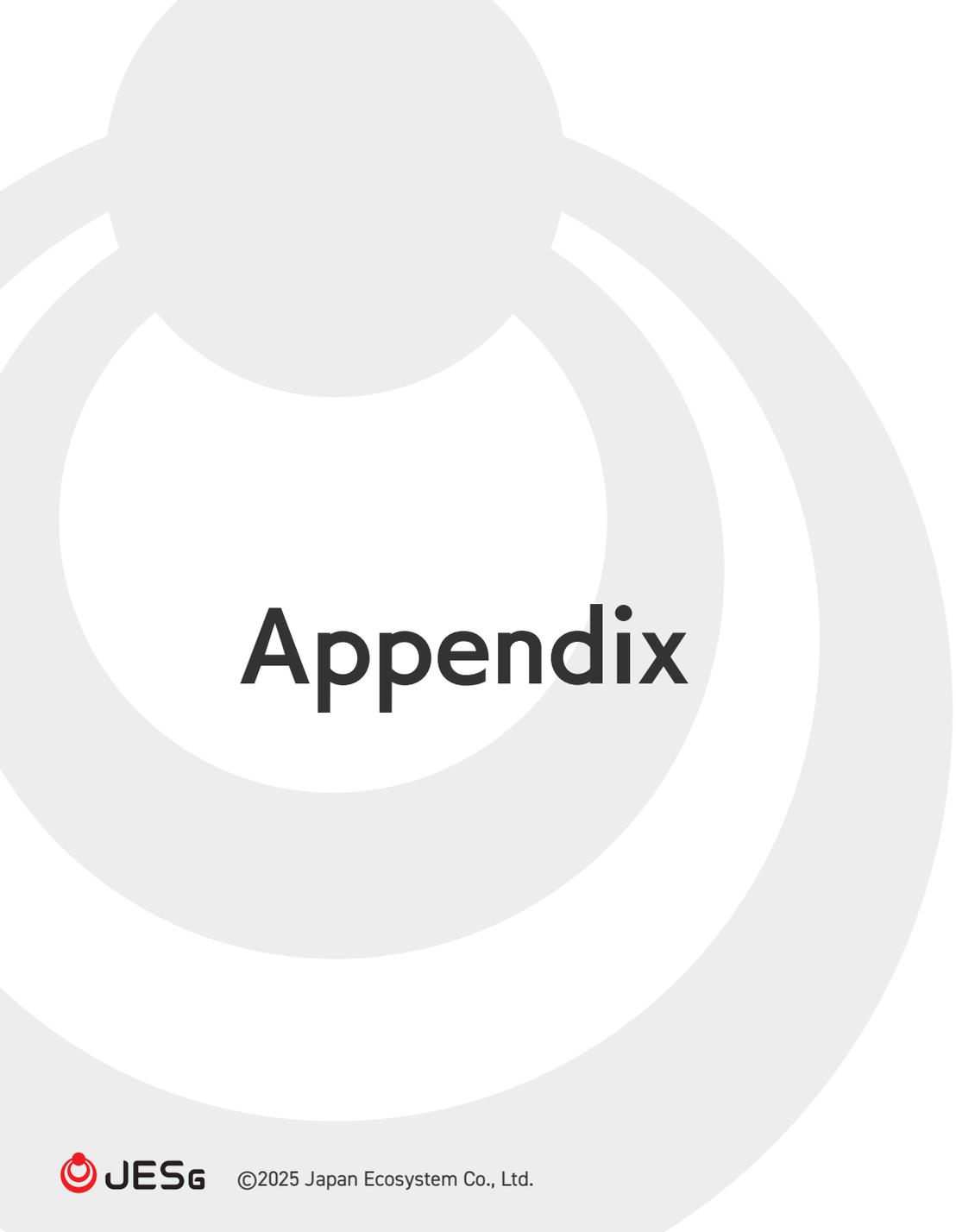
- 技術者の獲得と教育により包括的な受注を拡大
- 中部エリア高速道路運営事業者における新規案件獲得および営業方法の確立
- AI・IOT・5G等の次世代に向けた領域にも注力

深化
分野

メンテナンスサービス



- 信頼度および質の高い成果/業績を維持し継続的に受注
- 外注の割合を減らし、高収益性を実現
- 技術者の獲得と教育に注力



Appendix

08

08

JESアカデミーの取組み ファシリティ事業



エンジニアエコシステム

若手や中堅層を育成し
スペシャリスト人材へと導く

グループ会社の葵電気工業やその他のグループ会社との間で、実際に複数の人材相互出向を開始しており、今後も社員の意向に沿った人材交流を進めています。



※グループ会社から日本エコシステムに出向中の現場写真

08

JESアカデミーの取組み 交通インフラ事業

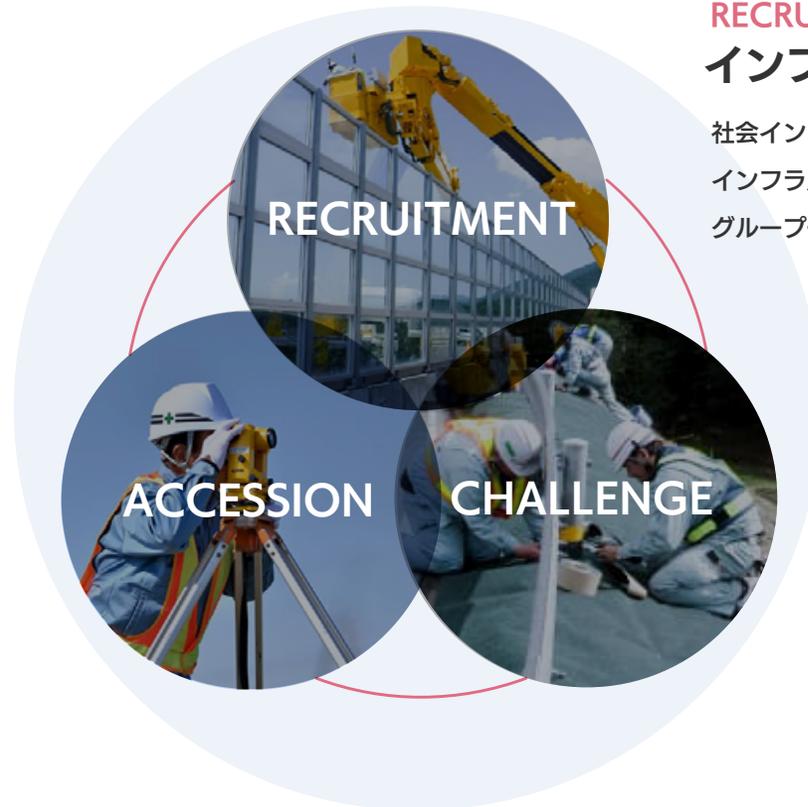
橋梁点検技術者の人材不足を解消するため、グループ会社の日新ブリッジエンジニアリングと連携。JESアカデミーを通じた技術者育成を交通インフラ事業にも展開し、教育の充実や人材確保を図る



ACCESSION

実践的な技術の継承

グループ会社の垣根を越え、さまざまな部署や現場に挑戦できる環境を整え、豊富な知識を持つ技術者から直接技術を継承する場を設けることで、円滑な学びの機会を提供し、技術継承を促進。



RECRUITMENT

インフラ点検の人材確保

社会インフラの老朽化が進み、メンテナンス需要が高まる一方、インフラ点検の人材が業界全体で不足していることを鑑み、グループ一括採用で人材を確保。

CHALLENGE

橋梁点検技術者資格取得

橋梁（鋼橋・コンクリート橋）の点検→診断→措置→記録というメンテナンス技術を有する橋梁点検技術者の資格者を指す。

LEED 認証の取得が完了

LEED 認証は、非営利団体 USGBC が開発・運用する、ビルト・エンバイロメントの環境性能評価システムです。持続可能な設計や建築物の環境性能を評価する国際的な指標であり、エネルギー効率や資源の最適利用、室内環境品質など複数の基準をもとに審査されます。



ニュースリリース : <https://www.jp-eco.co.jp/news/view/1734>



外観の緑化



11F 当社フロアの緑化



屋上の緑化

08

農園を活用した障がい者雇用支援事業

障がい者雇用支援を目的として、菌床しいたけ農園を JES グループの施設内で運営。
黒豆生産に続き 2 件目の新規事業。今後も障害をお持ちの方の更なる雇用促進を目指します

雇用促進・職業能力の開発

黒豆生産

業界団体とパートナーシップを結び、協力先が取り組む黒豆生産における種まき、収穫、農作物の加工品の梱包、選別、販売等を通じて、社会貢献。



社内で黒豆製品を販売

社内における障がい者支援の認知向上を目的として、生産した黒豆を使用した商品を社内販売で提供しています。



新規

菌床しいたけ農園

事業所の限られた省スペースを活用し、室内にビニールハウスを設置して、新たにしいたけ栽培を開始しました。



本資料における注意事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

本資料及び当社IRに関するお問合せ先 管理本部IR担当

 0586-64-9249

 ir.jesg@jp-eco.co.jp